

第23回 高山市近代文学館企画展

篠原無然

～飛驒青年の叫び～

平成27年10月3日(土)～4日(日)

午前10時～午後5時(最終日 午後4時まで)



主催 一般社団法人 高山市文化協会
共催 高山市

ご あ い さ つ

本日は、「高山市近代文学館企画展」によるこそおいでいただき、誠に有難うございます。

郷土の文化に、多大な影響を与えた人々が遺した手の跡・記述等は、地元にとって大きな財産であり、また大切な教科書でもあります。

そのために、一般社団法人 高山市文化協会では、郷土に関わりがある文学者と、その作品などを紹介することによって、高山市の文学さらには文化の振興と発展に寄与しようと、高山市と共催で「高山市近代文学館企画展」を毎年2回開催しています。

今年最初の第23回企画展は、「篠原無然～飛騨青年の叫び～」と題し、大正の時代に活躍した、社会教育の先駆者として全国的に名高い「篠原無然」(本名「禄次」)について、吉城郡上宝村(現「高山市上宝町・奥飛騨温泉郷」)を中心に、飛騨各地において青年、婦人、戸主達を対象とした教育活動の中で使用したと思われる文学作品の中から、主な和歌、歌詞等を取り上げました。

特に「飛騨青年の叫び」は今日に於いても、飛騨の各地で人々に愛唱されています。

この度の企画展は「近代文学」と言う性格から、文学作品を主体に展示しています。なお、和歌、歌詞等の作品が掲載されている資料は綴込められており、分解した場合に資料が損傷する恐れがあるため、冊子『飛騨と無然』(昭和47年5月1日「平湯篠原会」発行)から引用したものを展示しています。

今回、高山市近代文学館企画展「篠原無然～飛騨青年の叫び～」を開催するにあたり、「平湯篠原会」代表 村山昌夫様ほか、「篠原無然」研究者の方々から賜りましたご理解とご協力に対し、心よりお礼申し上げます。

平成27年10月
一般社団法人 高山市文化協会

[今後の文化協会事業のご案内]

10/31(土) 19:00～	ミゲル・アンヘル フラメンコ舞踏団 アンダルシア～情熱の瞬間 好評発売中	こくふ交流センター さくらホール	指定	一般 2,500円 メナイト 2,000円 ジュニア 1,000円
11/3(火祝) 14:00～	オーケストラ・アンサンブル金沢 山下一史&仲道郁代 好評発売中	高山市民文化会館 大ホール	指定	一般 2,500円 メナイト 2,000円 ジュニア 500円
11/23(月祝) 10:00～/14:00～	ワンコイン・シアター 「アニー ANNIE」上映会 10/24(土)9:00より発売開始	高山市民文化会館 小ホール	自由	一律 500円
12/10(木) 19:00～	クリスマス★ゴスペル2015 グローリー・ゴスペル・シンガーズ 10/17(土)10:00より発売開始	高山市民文化会館 大ホール	指定	一般 3,000円 ジュニア 1,500円
12/19(土) 14:00～/18:30～	ワンコイン・シアター 「ディア・ドクター」上映会 11/14(土)9:00より発売開始	高山市民文化会館 小ホール	自由	一律 500円

●「篠原無然」文学作品一覧

写真	顔写真	なには病院勤務の頃
写真	篠原無然記念館	
写真	歌碑「若き日を山に果てなむ…」	
写真	篠原無然遭難の碑	安房峠途中
掛軸	「小事は忠に 大事は忠に …」	無然の歌 太郎氏の筆
掛軸	「こころをきよめ みをきよめ…」	無然の歌 太郎氏の筆
掛軸	飛驒青年の叫び 「あ、偉なるかな飛驒の山…」	山本秀陽筆
著書	容貌と人格	T2.1 出版
著書	青年の光輝(歌集)	T4.11 出版
著書	日本アルプス物語	遺稿集
著書	山の愛	遺稿集
著書	山上浄土	遺稿集
文集	無然文集	修養団機関誌(向上誌掲載)
書籍	著書出版計画	(和歌と絵)
書籍	白雲集	
和歌	百鳥啼き頻く	22首
和歌	生白樺を割りて焚	12首
和歌	山荒れて鳴り轟く	12首
和歌	白雲霽るゝ	30首
和歌	星夜逍遙	13首
和歌	生命かけ生くるよろこび	45首
和歌	びろうどの素肌	25首
和歌	蝶	16首
和歌	山下の友をはげまして	8首
和歌	星の花	11首
和歌	花のかほり	13首
和歌	山に祈る	1首
綴り	志らかば	詩歌集
詩歌	青年団々歌	(1)あ、我が郷土… (2)我等が修養
詩歌	青年の意気	(1)我等青年は此の世の花よ…
詩歌	労働の歌	春は春は桜咲く若葉山…
詩歌	飛驒青年の叫び	(1)あ、偉なるかな飛驒の山…
詩歌	飛驒の血のいろ	(1)命がけたはジョウダンよしや…
詩歌	郷土の美	(1)七重に八重に…
詩歌	青春経	あ、我が夢は今覚めた…
綴り	工女いとしや	
詩歌	故郷の諸声	(1)さらば行くかいとしい我が娘…
詩歌	私は紅女	愛は女の命、愛あらば、この歌を…

詩歌	工女組合の歌	1トヤ 人は相持ち世は人情
詩歌	製糸工女のために	一、きりや姿に迷うな飛驒女…
綴り	貞操の光	詩歌集
詩歌	処女会の歌	(一)私や上室の山里育ち…
詩歌	処女の思い出	(一)思へばなつかしや清き処女…
詩歌	賤の女の四季	(一)我は賤の女若草の炎もゆる…
詩歌	人類共存の歌	(一)ご機嫌よろしうご機嫌よろ…
詩歌	わたしのはゝさま	わたしの母様お鶴と申してネ…
詩歌	覚悟の歌	あはれ此の身は弱とも…
綴り	大阪府立難皮病院に関する書類	(中にスケッチと歌及び譜面)
詩歌	涙の歌	1. 笑う方は泣いてた方よ…
詩歌	涙の歌	一、泣けて仕様が無いなら泣けよ…
詩歌	はずの花よ	一、泥の深味に咲き出たはずの…
詩歌	売られた花よ	一、娑婆が厭なら死んじまえ…
遺稿	山のおたより	
詩歌	新生の歌	(1)東の空ほのぼのと暁の…
詩歌	人のこゝろえ	1トヤ 人をこの世の生きもの…
詩歌	数へ歌 農夫の幸福	1トヤ 人と生まれて農業を励む幸福…
遺稿集	飛驒と無然	
	人の生き甲斐	人間の花と蜜
	人類共存	苦勞人
	娑婆の味	アカヌケした人
	真実の人間学問	味のある人
	姿	苦悩の福
	お大切に	愛の花と歌
	真心こめて	生き甲斐
書籍	「雪の碑」	江夏美好著

<篠原無然(禄次)年譜>

明治22年 3月	兵庫県美方郡西浜村諸寄 篠原六一氏の長男に生る
〃 27年	6才、母と妹を亡う
〃 28年	リウマチスにて瀕死の大病に罹る
〃 36年 3月	高等小学校卒業、貿易商会に勤務
〃 37年 4月	県立神戸商業学校に入学
〃 40年 7月	過労のすえ心臓を患い臥床する
〃 41年 4月	病癒えず退学、帰郷し闘病生活に専念
〃 42年 4月	美方郡小代小学校に奉職。勤務のかたわら地域の指導育成につくす
〃 44年 4月	立志上京、日本力行会幹事となる。早稲田大学文学部哲学科に入学
〃 45年 7月	東京朝日新聞社嘱託として、群馬、福島、新潟、長野県下を73日間に渉り90余町村の講演旅行をなす
大正 2年 3月	修養団に入団し編集部主任となる
〃 2年 7月	利根水源の幽境尾瀬沼に入り独棲
〃 3年 4月	入山を決意し、父母に離別のため帰省して父の許しを得る
〃 3年 8月	岐阜県上宝村第一小学校に奉職す
〃 5年 4月	自ら望み全村平湯分教場へ転任す
〃 8年 3月	研究、修養に専念のため教職を退く
〃 〃 秋	平湯青年会館新築、階上を先生の居室と定め、「霊泉然荘」と号し、「やはらぎのその」と称す
〃 9年12月	大阪府嘱託として社会事業を研究
〃 10年11月	東京都嘱託となり社会事業を研究
〃 12年12月	大阪府嘱託としてなには病院に勤務。入院患者の訓育に当る
〃 13年10月	なには病院を辞して上京、著作発刊の準備をなす
〃 13年11月	東京出発帰山の途につく
〃 〃 〃	14日、安房峠を越して平湯に向う途中、積雪と吹雪のため遭難、逝去さる
〃 〃 〃	19日、平湯区民葬執行

<歿後の年譜>

昭和 2年10月	岐阜県古城郡上宝村平湯「霊泉然荘」跡に篠原無然記念碑建立、題字床次竹次郎氏揮毫
〃 4年 8月	兵庫県美方郡小代村に、篠原無然記念碑を井上富太郎他有志建立
〃 6年11月	歌集『こころの友』(45頁)発刊、今田勝躬編集、平湯青年団(田中誠一)発行
〃 31年10月	追想録『飛驒と無然』(300頁)発刊、今田勝躬編集、平湯篠原会発行
〃 35年 6月	遭難の地安房峠に、篠原無然肖像記念石碑を平湯篠原会建立、題字修養団主幹蓮沼門三氏揮毫
〃 36年10月	平湯篠原会に「篠原文庫」設置。著書、遺稿、文書並びに遺品数十点を収める、実弟篠原太郎氏寄贈
〃 〃 11月	菩薩界総司所より「勒瑞菩薩」(ろくずいぼさつ)の法号を拝受
〃 37年10月	平湯湯の平の地に「菩薩堂」を建立、名木一位(あららぎ)の大樹に勒瑞菩薩像を彫像して本尊とす 小冊子『飛驒と無然』—人の生き甲斐—(20頁)を3,000部発行、広く頒布する、今田勝躬氏寄贈
〃 45年11月	篠原先生遺品が「上宝村文化財」として、また書類原稿等が「上宝村重要書類」として篠原文庫に収蔵保管される
〃 47年 5月	勒瑞菩薩『篠原無然小伝』刊行、著者今田勝躬、発行平湯篠原会
〃 〃	平湯に文化財保存の鉄筋耐火構造の宝庫を建設し、円空仏とともに勒瑞菩薩関係遺品を収蔵する